

やちぼうずとやまなこ
小川 浩子
ありがとう



「NPO法人 霧多布湿原ナショナルトラスト」スタート

おかげさまで2010年の霧多布湿原トラストも、多くの会員や企業の方々のご支援によって、霧多布湿原の保全活動を進めることができました。ありがとうございました。

そうした中で、特に海外の方々を研修や交流で、霧多布湿原にお迎えする機会も多くなり、いろいろな外国の方々との触れ合いから、学校や地域の中に、世界のつながりの中から霧多布湿原を見直す気持ちが生まれてきたようにも思えます。

こうした活動の広がりを捉えて、2011年度から団体の名称「霧多布湿原トラスト」を変更することといたしました。

新たな名称は、「霧多布湿原ナショナルトラスト」となります。会員や企業など、これからの支援者の広がりや、海外との事業や関係も深まっていくことに備えました。団体名に私たちの活動の主体である、「ナショナルトラスト」を冠して、私たちがナショナルトラストによる湿原の保全を行っている団体であることが、ストレートに伝わるよう明示することといたしました。

私たち自身、これまでの「霧多布湿原トラスト」の名前への愛着も断ちがたいところがありましたが、新たな飛躍を期して、あらためて「NPO法人 霧多布湿原ナショナルトラスト」としてスタートすることといたしました。

これからも皆様と一緒に、この霧多布湿原を未来の子どもたちにつなげる活動に取り組んでいきたいと思っております。

今後とも一層のご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。

理事長 三膳時子

霧多布湿原トラスト
会員募集中

サポーター会員(個人) 一口1,000円
法人会員 一口10,000円

2011年2月の会員数 2,507人

表紙・挿絵 作家紹介

小林 絵里子

(野生生物画家・イラストレーター)

神奈川県座間市在住。

展覧会活動や出版物イラストなどで活動中。

ホームページによる会報掲載

皆様からの会費や寄付をできるだけ湿原の保全事業に役立てるために、会報をホームページ上に掲載し、経費や資源の節約を図りたいと考えています。

会報の郵送不要の方はへご一報ください。Emaにより会報の掲載をお知らせします。trus@kiritappu.or.jp



会報の編集をしていると

「霧多布湿原って本当にたくさんの方に支えられているなあ」と実感します。(美奈)

愛は食卓にある。キューピー

We have a Dream!
この湿原を子どもたちへ



認定特定非営利活動法人 霧多布湿原トラスト

〒088-1531 浜中町仲の浜 122 TEL0153-62-4600 FAX0153-62-4700
http://www.kiritappu.or.jp/ E-mail trus@kiritappu.or.jp

このマークは、Wetland(湿原)の“W”と、タンチョウの羽ばたきや湿原の川などをイメージしています。

きりたっぶ湿原

ファンクラブ通信

~ この湿原を子どもたちへ ~



「たこ縄」絵、文：小林 絵里子

タコってどんなふうにならされているのか、知らなかった。餌もなしに、ただ針を流しておくだけなんだそうだ。食べるだけの私には、そんなところまで考えが及んでなかった。

考えたら、今日食べた野菜も魚も肉も、生産地くらいは気にかけても、その先は知らない。どんな食べものにも、当然ながら生産している人たちがいて、自分たちと同じ生活がある。

情報だけはあるほどあるというのに、知らないことばかりで、なぜか世の中は問題だらけ。本当に大事なもののほど、余計なものごと埋もれてしまいがちだ。

からまった糸をほぐすには、焦らず端から少しずつたぐり寄せ、紡ぎなおしていく。多少時間はかかっても結果は効率的。今はそんな作業が大事なとき、のような気がする。